

第17回 SAT 賛助会員交流会開催（7月25日（火））のご案内

つくばサイエンス・アカデミー

第17回 SAT 賛助会員交流会を下記の要領で開催します。

賛助会員交流会は SAT を支援して頂いています賛助会員同士および賛助会員とつくばの研究者との交流会です。賛助会員の事業紹介とともにつくばの研究者による研究紹介を行い、賛助会員と研究者との交流による新しい「知の触発」に繋げていくことも目的としています。事業紹介される賛助会員ばかりでなく、多くの賛助会員、個人会員および一般の方の参加をお願い致します。

申し込み先：メールで宛先 academy@epochal.or.jp まで、

「第17回賛助会員交流会参加」と記載し、①氏名、②所属機関・部署・役職、③連絡先（電話、e-mail）、④懇親会（1,000円/人 当日徴収）の参加・不参加をお知らせください。

問い合わせ先：つくばサイエンス・アカデミー（TEL 029-861-1206）まで

記

日時 2017年7月25日（火） 午後1時15分～6時45分

会場 つくば国際会議場 202 B室 および サロンレオ

I. 交流会

午後1時15分～4時45分

1. 開会挨拶

5分

2. 賛助会員事業紹介（質疑応答含め各30分）

計90分

① 田中貴金属工業株式会社 製造技術・チーフマネージャー 渡邊恭伸様

② 戸田建設株式会社 筑波技術研究所 技術開発センター

センター長 半田雅俊様

③ アステラス製薬株式会社 研究本部 上席専任理事 宮田桂司様

休憩

10分

3. つくば研究者講演（質疑応答含め各30分）

計60分

① 物質・材料研究機構 特命研究員 原田幸明様

「都市鉱山開発の新たな地平」

② 農研機構 畜産研究部門 家畜育種繁殖研究領域 有用遺伝子ユニット

上級研究員 田上貴寛様

「ゲノム編集技術のニワトリへの応用：社会に貢献する新しいニワトリを作る」

4. 総合討論

40分

5. 閉会挨拶

5分

II. 懇親会 交流会終了後（午後5:00予定）～6:45

会議場4階「サロンレオ」 会費1000円

【参考資料】

事業紹介

① 田中貴金属工業株式会社 製造技術・チーフマネージャー 渡邊恭伸様

(事業紹介) 田中貴金属グループでは、産業用製品、宝飾品、資産用の貴金属地金の 3 事業を柱として展開し、田中貴金属工業(株)では国内に 7 工場、国内外に 18 の販売拠点を設け産業用製品の開発/製造を行っております。

その中で筑波事業所には、化学材料開発を行う部門、触媒の開発・製造を行う部門、そして我々筑波工場があります。筑波工場は Pt 系産業用製品の主幹工場として、主にハードディスク製造用スパッタリングターゲットの製造拠点としての役割を担っています。我々は、高品位の磁性合金材料の作製と、その合金と酸化物を混ぜる技術を有し、ハードディスクドライブ向け磁気記録層ターゲットのトップシェアメーカーとして市場を牽引しております。

② 戸田建設株式会社 筑波技術研究所 技術開発センター センター長 半田雅俊様

(事業紹介) 戸田建設は 1881 年の創業以来、超高層ビル等の建物の建設、および道路やトンネル、ダム等の社会基盤の建設事業を通じて社会に貢献し、安全・安心で快適な社会を提供しています。その中で技術開発センターは、建設の分野における基盤技術や構造物に求められる機能・性能を充実させるための研究開発、さらには環境問題にも積極的に取り組んでいます。これらの技術研究開発活動を支える研究施設として、創業 100 周年を記念して、1981 年、研究都市であるこのつくば市に開設をしました。この筑波技術研究所では、室内環境、音環境、構造、コンクリート材料、土木等の実験を行う施設を整え、技術開発だけでなく、社内外への支援、社会教育などリサーチコア的な役割もはたしています。

③ アステラス製薬株式会社 研究本部 上席専任理事 宮田桂司様

(事業紹介) アステラス製薬(株)は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。重点疾患領域である泌尿器、がん、免疫科学、腎疾患、神経科学に加えて、新たな疾患領域への参入や新技術・新治療手段を活用した創薬研究にも取り組んでいます。

つくば研究センターは、当社の創薬研究活動の中核であると同時に、グローバルに展開するアステラスグループ研究ネットワークの司令塔として重要な役割を担っています。このため最先端の技術や設備はもちろんのこと、社内外の研究者とのネットワークを通じて画期的なアイデアやノウハウを導入し、革新的な新薬の継続的な創出に取り組んでいます。

つくばの研究者講演

① 物質・材料研究機構 特命研究員 原田幸明様

タイトル：都市鉱山開発の新たな地平

（講演概要）2020 東京オリンピックでは、その勝利者メダルを都市鉱山から得られたリサイクル原料で作成することになった。これは我が国の都市鉱山開発のひとつの大きな到達点である。しかし、21 世紀の資源・環境の状況を考えるとさらに新たな地平を目指す必要がある。ここでは欧州のサーキュラー・エコノミーなどの動向も踏まえつつ、あらたなバリュー循環のありかたとそれを支える技術について述べる。

② 農研機構 畜産研究部門 家畜育種繁殖研究領域 有用遺伝子ユニット

上級研究員 田上貴寛様

タイトル：ゲノム編集技術のニワトリへの応用：社会に貢献する新しいニワトリを作る

（講演概要）鶏卵は私たちの暮らしの中に欠くことはできないものであり、食材としてはもちろんワクチンの製造にも利用されています。一方で、鶏卵は食物アレルギーの原因物質の第一位であり、鶏卵を利用できず不便を強いられている方も多くおられます。そこで私たちは今話題の「ゲノム編集技術」を応用し、鶏卵アレルギーの原因物質として最も強力な「オボムコイド」タンパク質を作る遺伝子が働かないニワトリの作出に成功しました。さらに最近、ゲノム編集技術を使って「卵の中に医薬品を生産させる」システムの構築に向けた取り組みも行っています。交流会ではこのようなゲノム編集技術を用いた新しいニワトリの活用方法についてお話いたします。